



Embryo adoption: One way to adopt a child.

胚の養子: 養子をもらう一つの方法

Interviewee

Ms. Kimberly Tyson

Q. ご自身の自己紹介、また、Nightlight, Snowflakes Embryo Adoption and donation, Embryo Adoption Awareness Centre などの組織と、その関係性について教えてください。

これまで15年間、NightLight Christian Adoptions に関わってきた。当初は助成金担当として働き始め、現在は副社長の役割を担っている。米国政府は、養子と胚提供に関する認知度を高めるための助成金プログラムを出しており、NightLight Christian Adoptions は過去にその助成金を受けたことがある。

2015年からの政府助成金プログラムに加え、Snowflakes Embryo Adoption Program (以下、Snowflakes) の運営を担当している。Snowflakes は1997年に設立され、胚を保管する人々が胚を提供する場合、誰がその胚を受け取ることができるかについて、より多くの選択肢を提供することを目的としている。Snowflakes は胚移植のパイオニアであり、「生命は受精から始まる」という信念に基づいている。すべての胚が凍結され、唯一無二の存在であることにちなみ、「Snowflakes」と名づけられた。自分が関係するようになってから、誕生した赤ちゃんの数は600人増えた。これはドナーや養子縁組の家族の増加を反映している。最近、このプログラムは1,000人目の赤ちゃんの誕生を祝った。

胚養子の分野に入る前は、電気通信分野のマーケティングに携わっていた。

Q. Embryo adoption を始めることになったきっかけや、ご自身の思いがあれば、お願いします。

胚養子が生命の創造者であり維持者である神とのパートナーシップであると感じていて、この分野で働くことに意欲をもっている。この仕事が、親切な人の子宮を見つけることで、人々が生まれてくるのを助けるという信念をもっている。

当時、自分は離婚したばかりで、45歳で出産した幼い娘がいたため、仕事が必要だった。この仕事に出会えたことに感謝している。

Q. 米国で不妊治療を受けている患者の間で胚提供はどの程度知られていますか？

胚提供はあまり知られていないと思う。アメリカの不妊治療クリニックは、患者を自分たちのクリニックにキープすることにフォーカスしているのも、もし院内にドナープログラムがあれば、そのプログラムについて患者に説明するだろう。もし、患者が「レシピエント家族を選びたい」と言い出したら、Snowflakes のようなプログラムを紹介することもある。一般的に、現在の不妊治療専門クリニックのビジネスモデルは、卵子や精子を購入することを推奨しているため、胚提供の選択肢があることは知られていない。

Snowflakes は40以上の不妊治療クリニックと提携し、提供胚をアレンジしているが、胚提供・養子縁組の認知度は低く、大きな課題だ。もっと早くSnowflakes のことを知ることができたな



ら、と嘆いている人が多い。例えば、Snowflakes の 1,000 番目の赤ちゃんの養父母は、胚移植と Snowflakes のプログラムを知る前に、3 箇所の不妊治療クリニックで計 7 回の体外受精を経験していた。

Q.一般的に、米国では、不妊治療の現場で余った受精卵は廃棄されることが多いでしょうか？それとも提供されることが多いでしょうか？

米国では、余剰胚を無期限に凍結保存することが一般的に行われている。米国では 150 万個以上の胚が凍結されており、年々増加している。もちろん、解凍して廃棄する人もいるが、胚に愛着を感じて保管を続けている人も多いようだ（同じ時期に採卵して作成した受精卵から子供が生まれた、などの理由で）。他の人が子を産むために自分の胚を提供することを決断するのは難しく、罪悪感もあるだろう。

National Embryo Donation Centre（米国を拠点とする別のプログラム）では、30 年間凍結されていた胚のマッチングに成功した。その結果、健康な双子が誕生した。養父母は「最も移植が困難な」胚を受け入れようとし、その後、センターが保有する「最も古い」胚とマッチングされた。

Q. 受精卵提供は匿名で行われますか？それとも、非匿名で行われますか？

Snowflakes は養子縁組のエージェントのようなもので、当事者間の関係をサポートしている。胚提供でも、養子縁組の用語を使う（例えば、「donor」の代わりに「placing parents」を用いている）。ま

た、マッチングにコンピュータを使用しない。

Snowflakes の料金は、事務的なサポートやその他のガイダンス、マッチングプロセス、契約書、発送などをすべて含めて、9,000US ドル。胚養子縁組をする家族は、マッチング前に養子縁組家庭調査を受ける必要があるが、Snowflakes は追加料金 \$2,000US でこのプロセスを円滑にいくよう手助けすることができる。

胚養子縁組をする家族は、胚移植を行うクリニックを自分で探さなければならぬが、一般的に 3,500 ドルから 8,500 ドルの費用がかかる。仮に、クリニックから胚移植とそれに伴う薬代として 5,000 ドルを請求された場合、1 回の胚移植にかかる費用は 16,000 ドル程度になる。通常、ドナーからの胚はすべて 1 つのレシピエント家族に提供され、複数回の移植が可能なので、遺伝的な兄弟姉妹を作ることができる。

また、Snowflakes では以下のような保障を予め含んでいる。

- 例えば、もし、胚を解凍したとき、全ての胚が死滅してしまった場合、レシピエント家族は Snowflakes に追加料金を支払うことなく、再度すべてのプロセスを行うことができる。

- 例えば、もし、解凍された胚のうち、数個が生存していたとしても、妊娠に至らなかった場合、レシピエント家族は、3,000US ドルの手数料を支払うことで、再度、マッチングプロセスを行うことができる。

1 つのレシピエント家族に配置することが不可能なほど多くの胚（例えば、17 または 38 など）を持つドナー家族がいる。このような場合、複数の小さなセットに胚を分割することがある。



Snowflakes は、余剰胚を提供し、家族を作るためのサービスを提供している。この業務には手数料がかかるが、手数料はできる限り低く抑えている。

Q. マッチングは誰が行いますか? どのような点を考慮しますか?

Snowflakes は、マッチングを円滑に進めるためのサービスを行っている。ドナー家族と胚養子を希望するレシピエント家族の双方に、家族の簡単なプロフィールを作成してもらう。このプロセスは、まずドナー家族の希望から始まる。そして、その希望に沿った胚養子の希望者のプロフィールが提供される。そして、マッチングに問題がなければ、ドナー家族のプロフィールを胚養子を受け入れる家族に見せる。また、Snowflakes は、ドナー家族の病歴などを取得し、第三者への提供が認められるかどうか、契約書のレビューを行う。そして、レシピエント側のクリニックに胚についてのレポートを見せ、クリニックが胚を受け入れるかどうかを決める。クリニックは、高い成功率を維持するため、胚移植が成功する可能性が高いことを確認したいから。

すべての関係者とクリニックが合意すれば、マッチングが成立する。そこで、Snowflakes は、胚を財産と見なし、提供するための法的な契約書を作成する。契約書には、胚を保護するための養子縁組の文言が含まれている。契約書締結後、養子縁組する家族のクリニックに胚を送るための輸送作業に移る。

Q. 受精卵は無償で提供されますか?

胚養子をする家族が支払う 9,000 ドルは、感染症検査や胚養子のための広告費

など、ドナーの家族に関わる一定の費用を賄うためのもの。

長い間、Snowflakes の胚提供は無料だったが、胚が 1 個か 2 個しか残っていないドナーが、ドナーを希望することが多くなってきた。胚養子の成功確率を上げるためには、3~6 個の受精卵が必要であるため、1 個や 2 個ではマッチングが非常に難しい。そこで、1 組の胚養子に対して 2 組のドナーのマッチング始めることにした。その結果、ドナーの獲得とマッチングにかかる費用は約 2 倍になったが、一方で胚養子のレシピエントが支払う費用は変わらないままとなった

そこで、1 個か 2 個の胚を提供するドナーの家族に 1,500US ドルの名目手数料を請求することになった。これによって、2 組のドナーと 1 組の胚養子のマッチングにかかる費用を回収することができる。また、1 個や 2 個の胚を提供してくれるドナーの数をコントロールすることもできる。もしドナーが本気で余剰胚を提供したいと考えているのなら、進んでお金を払うだろう。

Q. レシピエントは、受精卵が提供されるまで、平均してどのくらい待ちますか?

胚養子の希望者は、最初の書類作成と家庭調査を終えると、マッチングの段階に移る。ドナーとレシピエントが 1 週間程度でマッチングした例もあるが、これは相手がどの程度オープンであるかによる。Snowflakes では通常、全プロセスに約 6~8 カ月かかる案内しているので、プログラムに参加する期間は、医師と転院のスケジュールを決めるのを含めて全体で約 9 カ月間ということになる。

例：応募 (1~2 ヶ月)、マッチング (2~3 ヶ月)、契約・輸送 (1~3 ヶ月)



ドナー側については、提供先とのマッチングに通常 12 ヶ月程度かかる。中には極端にこだわる人もいて、その場合は長期化することもある。Snowflakes としては、胚養子を断るドナーに対しては、積極的になれなくなる。

ネット上には、ドナーとレシピエントが DIY でマッチングできるセルフマッチングサイトが多数存在する。セルフマッチングを行った家族が、Snowflakes にサポートを依頼する場合、すでにマッチングが行われているため、手数料を減額することができる。

Q. 受精卵を提供するドナーには、どのような期待がありますか？

胚養子のエージェントである Snowflakes は、レシピエント家族に生まれてきた子供の幸福の鍵は関係性であると考えている。Snowflakes が提供する教育は、ドナーとレシピエントが関係を築くためのものが多い。

Snowflakes が匿名での提供をとりもつことは非常に稀だ。例えば、提供するカップルが離婚しており、その胚を使って子供を作ったことがなく、今後お互いに接触しないことを希望している場合、匿名の提供をサポートすることがある。この場合、胚養子をする家族には個人を特定できる情報は提供されないが、記録はエージェントによって管理される。この機関は、すべてのマッチングを永久に記録している。

Snowflakes は、家族に連絡用に特定のメールアドレスを作ることを検討するよう勧めている。また、「Adopt Connect」というオンラインツールも提供しており、個人を特定できる情報を共有せずにコミュニケーションをとることができる。

Snowflakes は、胚養子をする家族と協力し、移植の成功や子どもの誕生について一定の情報を提供することになっている。

Snowflakes は、マッチングプロセスにおいて、提供する家族と胚養子をする家族が、希望するコミュニケーションのレベルについて同じような期待を持っているかどうかを検討する。親しい間柄になり、一緒に旅行をする家族もいれば、メールや電話で時々連絡を取り合ったり、Facebook のグループを利用したりする家族もいる。

コミュニケーションは一部の人々にとっては難しいものだが、問題が生じるのは恐れがあるから。例えば、レシピエント家族は、ドナーが親になりたがるのではないかという心配がある。ドナー家族は、実際に赤ちゃんを見たら、圧倒的なつながりと喪失感を感じるのではないかななどの恐怖心がある。Snowflakes は、時間をかけて関係を作っていくようにと忍耐強く指導している。最初は Adopt Connect を使って、最終的にはメールや電話で直接やりとりできるようになってもいいのだと、家族を安心させる。

Q. 受精卵提供には、宗教的な背景はありますか？

NightLight Christian Adoptions は、キリスト教の非営利団体だ。キリスト教的価値観とキリスト教的世界観に基づいて運営されている。しかしながら、このプログラムを利用するためにクリスチャンである必要はない。どのような宗教背景の家族に対してもサービスを提供し、すべてのタイプのカップルと同様に、シングル女性などにもサービスを提供する。自分たちのプログラムがどのように機能するかについてオープンであり、自分た



ちの信念を隠すことはない。また、マッチングをするのが簡単か難しいかについても率直に伝え、他のプログラムの方が望ましいと考えられる場合はそちらを紹介する。

Q. 受精卵提供には、どのような advantage と、disadvantage がありますか？

デメリット

- 妊娠の保証はない。
- 凍結胚移植の費用は1回で約16,000ドル、2回目以降は追加料金がかかる。
- 胚の養父母と子供の間で遺伝的つながりがない。

メリット

- 胚移植は、ドナー卵子やドナー精子を購入する(片方の親との遺伝的つながりを求めるタイプ)よりもはるかに安価なこと。卵子を購入する必要はなく、胚を採用することで、既存のプールにアクセスすることができる。
- 米国では最も安価な養子縁組の方法。
- 胚養子縁組は、従来の養子縁組に比べ、より良い結果が得られる可能性がある。
- 妊娠することでお腹の中で赤ちゃんを育て、絆を深めることができる。
- 妊娠中のアルコール、薬物使用の心配がない。
- 遺伝的な兄弟姉妹ができる可能性がある。

Q. 養子を希望しているがなかなか養子がみつからない場合、胚養子に移行するパターンは多いでしょうか。養子を希望する人にとって、胚養子にはどのようなメリットがありますか？

胚養子を行う人の約8割は、体外受精がうまくいかなかったケースだ。体外受

精がうまくいかず、その後、二次不妊になった人もいます。

残りの2割は、保管されている胚を助けようとする家族だ。Snowflakesの胚養子縁組で7人の子供を迎えた家族もいる。その子どもたちは、全員が遺伝的つながりがあるわけではない。

Q. 受精卵提供を希望するレシピエントはどのような人が多いでしょうか？ 男女カップル以外の人でも、胚養子を受けることは可能ですか？

Snowflakesは、過去にLGBTQの人たちと一緒に活動したことがある。とはいえ、ドナーは異性愛者のキリスト教徒が多く、その多くは非異性愛者のカップルに提供をすることに抵抗があるだろう。このことから、マッチングの可能性のあるかないかについてSnowflakesとして透明性を保つことが重要であることが浮き彫りになった。非異性愛者のカップルの場合、マッチングに時間がかかることがあるが、強く希望するなら待つことができるだろう。

Snowflakesは代理出産にも対応しているが、非常に稀だ。このことは、マッチングのプロセスにおいて、ドナー側の家族に対して明確に説明される。

Q. レシピエント家族と、ドナー家族の交流は、一般的ですか？ 具体的な事例をご存知でしたら教えてください。うまくいった事例、あるいはうまくいかなかった事例など。

ドナー側とレシピエント側で、コミュニケーションがうまくいかないことがあるのは確か。例えば、一方が相手からの返事が少ないと感じることもあるだろう。そんなとき、Snowflakesはスタッフや



訓練を受けたカウンセラーによるカウンセリングを提供している。ほとんどの場合、直接のコミュニケーションラインが確立されていない家族が、お互いに問題を抱えている。

Q. 受精卵提供に関する法的問題(訴訟など)はありますか? それは何でしょうか(合衆国の文脈に即して)?

Snowflakes では、社会的、感情的な問題をプロセスに組み込んでいるため、これまで契約が裁判になったことはない。当事者間のコミュニケーションを円滑にするためのサポートはするが、法的な問題は、余剰胚を保管している夫婦が離婚する際や、夫婦関係が破綻して片方が不妊になり、胚の保管を希望する夫婦の間で起こることが多いようだ。

Snowflakes が作成する契約書では、ドナー側は、提供する胚と生まれてきた子供に関するすべての権利と責任を放棄することを保証している。

離婚した夫婦が余剰胚の提供を希望する場合、胚の所有権を証明する裁判所の命令書を提出する必要がある。Snowflakes は、胚の所有権がどちらにあるかに関わらず、情報収集のために両者に連絡を取る必要がある。

Q. 受精卵が海外に輸送され、海外のレシピエントに提供されることはありますか?

Snowflakes では、米国内の凍結保存施設が海外から輸送された胚を受け入れないため、海外に住むドナー家族は受け付けていない。それに、米国内には既にたくさん胚がある。外国人のドナーは募集していないが、もしその人の胚がアメリカに保管されているのであれば、提供す

ることは可能だ。また、海外に住むレシピエントを受け付けるが、その場合は米国に渡航して治療してもらう必要がある。

Q. その他.

ドナーとレシピエントが同じ地域に住んでいることは非常に稀。ドナーは、マッチングプロセスの初期段階で、海外に住むレシピエントとのマッチングを希望するかどうかを尋ねられる。

(2023年1月)



Ms. Kimberly Tyson [Link](#)

コロラド州立大学で経営学とマーケティングを専攻し、政治学を副専攻して学士号を取得。胚養子縁組の分野に入る前は、40年以上にわたり、電気通信分野のマーケティングに携わっていた。

1997年、世界初のヒト胚養子縁組プログラム「Snowflakes Embryo Adoption Program」を立ち上げ、現在は副社長の役割を担っている。最近、このプログラムで1,000人目の赤ちゃんが誕生した。

Snowflakes Embryo Adoption Program; Nightlight Christian Adoptions [Link](#)

養子縁組を専門とする立場から、受精卵提供を扱っている

メディア:

['Snowflake' Giving Leftover Embryos a Chance at Life/CBN News](#)

[Embryo Adoption in the News - Embryo Adoption Awareness Center](#)